



ロタウイルス ワクチンについて



ロタウイルス感染症とは？

ロタウイルスによる急性の胃腸炎で、主に0歳～6歳の乳幼児がかかりやすい病気です。感染力が非常に強く、ほとんどの子どもが5歳までに感染すると言われ、例年冬から春にかけて流行します。

主な症状

乳幼児は激しい症状が出やすく、特に初めて感染したときに強く現れます。水のような下痢や嘔吐が繰り返され、その後重い脱水症状が数日間続くことがあります。発熱や腹部の不快感もよくみられます。合併症として、けいれん、肝機能異常、急性腎不全、脳症、心筋炎などがあり、命に関わることもあります。

脱水症状が進むと点滴や入院が必要になることがあります。水分が摂れずぐったりする場合は、すぐに医療機関にご相談ください。

ロタウイルスワクチン



当院では、シロップ状の飲むワクチン「ロタリックス」(1価ワクチン/2回接種)を採用しています。ワクチンは公費で接種できます。詳細は各自治体へ。
※当院では採用しておりませんが、他に「ロタテック」(5価ワクチン/3回接種)があります。「ロタリックス」同様の予防効果がありますが接種回数や接種量が異なりますので、接種を計画する際にご注意ください。

治療法

ロタウイルスに効果のある抗ウイルス剤や下痢止めはありません。そのため、脱水を防ぐための水分補給や体力を消耗しないように栄養を補給することが治療の中心となります。

予防法

感染拡大を防ぐために、オムツの適切な処理、手洗いの徹底、吐物や便で汚れた衣類の次亜塩素酸などによる消毒が必要です。しかし、これらの対策をとってもロタウイルスの感染力は非常に強いため、感染を完全に予防するのは困難です。**ロタウイルスワクチンは重症化や合併症予防のために、適切なタイミングで接種しましょう。**

〈小児科・予防接種外来〉

亀田クリニック予約センター

TEL 04-7099-1111

受付8:00～17:00(第3土曜・日曜・祝日除く)

※NOBORIのweb予約は利用できません。

予約

接種スケジュール

1
回
目

生後6週から14週6日までに接種しましょう。

※腸重積症のリスクを最小限に抑えるため

生後2か月にB型肝炎、小児用肺炎球菌、五種混合ワクチンとの同時接種がおすすめです。

2
回
目

1回目接種から4週間以上の間隔をおいて2回目を接種し、生後24週までに完了しましょう。

bayim「MEDICAL UPDATES」

FM ラジオ局ベイエフエム『it!!(イット)』では、毎週火曜日の午後3時から、当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナーが好評放送中です。

3月は今川遥菜看護師が、亀田訪問看護センターでの看護の仕事などについてお話しします。

亀田クリニック

3月15日(第3土曜日)
休診です。





脳神経内科(亀田脳神経センター) 安藤 哲朗

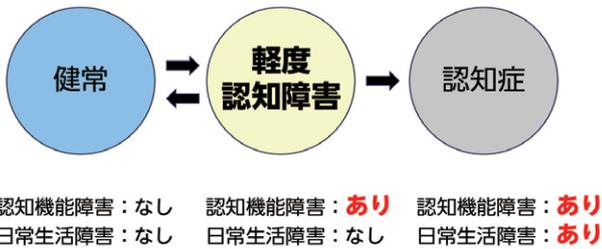
第3話 認知症の前段階を見つける

軽度認知障害

認知症は突然発症するのではなく、前段階が数年間あり、ゆっくり進行して認知症になります。認知症の前段階のことを「**軽度認知障害**」と呼びます。もっとも多いアルツハイマー型認知症の前段階の軽度認知障害は、物忘れはあるが、生活に介助が必要なほどではない程度です(図)。軽度認知障害の人はしばらくすると認知症に進行することが少なくないのですが、中には長く軽度認知障害にとどまる場合や、健常に戻る場合があることが知られています。この軽度認知障害の段階で、なんらかの介入をすれば認知症への進行を遅らせることが可能になります。



軽度認知障害は健常と認知症の中間状態



軽度認知障害の早期発見

軽度認知障害では日常生活に支障がでるほどではありませんが、健常な人よりも認知機能障害を認めます。次のようなことがあれば、軽度認知機能障害ではないかと疑ってみる必要があります。

1. 忘れ物や探し物の頻度が多くなる

記憶力の低下によって忘れ物や探し物が多くなります。また、過去の出来事や日々の出来事を思い出すのが難しくなったり、アポイントメントや予定を忘れていたりするなどの症状が現れます。

2. 繰り返し同じ話をするようになった

話したことを忘れてしまうために、同じ話の繰り返しが多くなります。(お酒に酔っている人もそうなりますね)また、人や物の名前がすぐに思い出せず、「あれ」とか「これ」という言葉が多くなることがあります。

3. 外出や人付き合いに対して無気力になる

これまでは頻繁に外出や、近所の人との交流が行われていたのに、その数が減って段々と無気力になります。また、外出するとき服装や髪型を気にしないとといった行動の変化が出ます。

4. 今までできていた家事など、何かをしようとすると時間がかかる

今までできていた家事で手間取ってしまったり、料理で味付けを忘れてしまうなど、家事全般において段取りが悪くなり、スムーズにこなせなくなります。



軽度認知障害を疑ったら

以上のような症状に気付いたら、脳神経内科を受診するのがよいと思います。本人だけでなく、本人の日常の状態がわかる家族も一緒に受診していただくことが必要です。軽度認知障害の初期の頃は、本人も物忘れの自覚を持っていることが多いですが、症状が進行して認知症に近くなると、本人の自覚がなくなることが多くなります。かかりつけ医がある場合にはかかりつけ医に相談して、紹介状を書いてもらうとスムーズです。



医療エッセイのバックナンバーはこちらからご覧いただけます。

<https://medical.kameda.com/general/about/magazine/index.html>

亀田 INFO

LINE公式アカウント「亀田INFO」

亀田クリニック・亀田総合病院からの情報をお届けします

- 診療担当表の確認
- お問い合わせ BOT(ロボット)
- 交通アクセスや駐車場情報
- お薬番号の確認
- 広報誌の閲覧 亀田ニュースバックナンバー
- 病院からのお知らせ配信(原則1日・15日)

友だち募集中

1 右記QRコードを読み取ってください



2

友だち追加を選んでください

